

川遊び実施届（川遊びA）

団体名	
-----	--

実施日	月 日（ 曜日）
出発時刻	午前・午後 時 分
帰所時刻	午前・午後 時 分
参加人数	人（引率者 人、参加者 人）
	引率者氏名 携帯電話
待機者数	人（引率者 人、参加者 人）
	待機場所（ ） 引率者氏名 携帯電話
無線機	無線機の台数（ ）台 ※職員記入→No..
特記事項	※行程図(地図)の添付や待機者連絡先など (行程図は、マーカーをなぞった別紙マップ等を添付しても構いません)
確認事項	個人 装備 <input type="checkbox"/> 川遊びの服装（水着、ラッシュガード等長袖、運動靴、帽子） <input type="checkbox"/> 十分な水分
	団体 装備 <input type="checkbox"/> 救急用品セット（体温計を含む） <input type="checkbox"/> 緊急連絡用携帯電話 <input type="checkbox"/> 施設貸出用品
	引率者 <input type="checkbox"/> 下見をしましたか（下見をしていない団体の川遊びは許可しません） <input type="checkbox"/> 所員からセーフティトークを受けましたか <input type="checkbox"/> 緊急時の体制を確認しましたか <input type="checkbox"/> 救急用品を持ちましたか <input type="checkbox"/> 引率者間の連絡方法を確認しましたか <input type="checkbox"/> 参加者の健康状態を把握しましたか <input type="checkbox"/> 団体の責任において行い、自然の家には一切の責任を求めません。 <input type="checkbox"/> 天候の急変等、活動の中止に関する自然の家からの情報に従います
	配慮 <input type="checkbox"/> 参加者の中に、配慮を要する方はいませんか <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる→対応（ ）

届出人	職名	氏名
-----	----	----

【指導者向け】川遊びの安全管理（セーフティトーク資料）

2023.7 国立曽爾青少年自然の家

自然の川は美しいですが、管理されたプールとは違い、日々状況が変わっています。安心安全に行っていただくために以下の点を必ずご確認ください。

1. 実施判断について

【活動開始直前に以下に一つでも該当する場合は実施不可】

確認しました

- ・水温 18℃未満
- ・水深 膝（約 50cm）以上
- ・水質 濁っている
- ・気温 22℃未満
- ・雷 自然の家周辺で雷が鳴っている場合
- ・警報 大雨、大雪、暴風警報が発令されている
- ・雷注意報が発令され、気象庁「雷ナウキャスト」で活動度が2以上の場合
- ・大雨注意報が発令され、気象庁「アメダス」曽爾雨量観測所で雨量が 10mm 以上観測される場合
- ・WBGT（暑さ指数）28 以上の場合

【直ちに活動を中止し、帰所する】

- ・気象が急変し（上記実施判断基準）、活動の実施が困難となる場合（自然の家から連絡）。

2. 持ち物

確認しました

・参加者

川遊びの服装（ライフジャケット、水着、ラッシュガード等長袖、運動靴またはかかとが固定できるウォーターシューズ、帽子）、十分な水分（スポーツ飲料等塩分を含むものが望ましい）、着替え、タオル

・指導者

救急用品セット（体温計、経口補水液、虫よけスプレー、虫刺され軟膏を含む）、緊急連絡用携帯電話

・自然の家から貸出

ライフジャケット、無線機、救命ロープ（スローバッグ）、遊泳範囲指示ロープ、救命浮き輪、保温用毛布、ホイッスル、メガホン

確認しました

3. 事前準備（指導者）

- ・指導者は、事前に活動場所の下見を行い、所員からセーフティトークを受ける。
- ・参加者の体調を把握し、参加者、待機者（引率者を含む）を決定する。
- ・川遊び実施届（別紙）を活動開始前に提出する。

4. 当日の流れ

確認しました

①活動可否の決定

活動開始 1 時間前に事務室で団体代表者と打ち合わせを行い決定する。

②物品の借用

活動開始時間（午前は 9 時以降、午後は 13 時以降）に正面玄関に集合し、ライフジャケット、救命ロープ等の借用を受け、使用方法の説明を受ける。なお、ライフジャケットにはサ

イズがあるので、使用する参加者全員が集合する。

③活動場所への移動

川遊び場まで片道徒歩 1 時間程度の山道ハイキングです。(コース別紙)

バス等で移動する場合は、別紙の地図を参考に移動する。(駐車場が多くありません。緊急車両のみ駐車が可能。)

④活動場所到着後

・指導者

遊泳可能エリアを確認し(子供のひざ下を目安)、範囲指示ロープや指導者を配置(陸上監視員 1 名、救命浮き輪係 1 名、救命ロープ係 2 名(1 名は最下流))する。入水する前に、活動場所の確認、遊び方、指導者の配置を確認し、参加者に伝える。

・参加者

準備運動を行い、活動範囲、人数確認の方法(ボディシステム)、遊び方のルールを理解する。

⑤活動中

熱中症(低体温症)予防のため、30分に一度は一斉に水から上がり、休憩(水分補給、健康観察)を行う。なお、休憩時、活動終了時に人数確認(ボディシステム)を実施する。



⑥活動終了後

自然の家に帰所後、借用物品の洗浄、返却を職員の指示のもとに行う。

なお、天候に関わらず川遊び直後の入浴はできません。通常時間の入浴となります。